

⑦平成28年台風10号におけるTEC-FORCEの 自治体・住民支援活動

受賞機関 国土交通省 東北地方整備局、国土交通省 関東地方整備局、
国土交通省 北陸地方整備局 他4機関

全建賞審査委員会の評価ポイント

平成28年8月の台風10号による岩手県内での大災害に際し、地元東北をはじめ5地方整備局延べ2,434人の職員や専門家派遣機関の職員により約一月に亘って被災地支援を行ったもの。道路が途絶・孤立した現場で、最新技術を活用したドローン部隊や徒歩部隊を展開し、調査・応急復旧・孤立状況把握等を行い地域を支援したこと、甚大な被害に対して、支援物資の配給など、本来のTEC-FORCEの役割を超えた幅広い支援を実施したことを評価。

1. はじめに

平成28年8月に発生した台風10号は観測史上初めて東北地方の岩手県に上陸した台風となり、岩手県内では床上浸水104戸、死者20名にのぼる大災害となった。

国土交通省では県や市町村からの要請を受け、TEC-FORCE部隊を岩手県内の10市町村に派遣し、道路啓開や被災状況調査、一部山間地の孤立状況把握などの被災地支援を実施した。

2. 事業の概要

台風10号により被災した岩手県沿岸部では、道路災害や土砂災害等により多くの孤立地区が発生し、その後の二次災害などに備えるためにも、国土交通省からのTEC-FORCE派遣は急務であった。

今回の被災状況調査では、ドローンをTEC-FORCE各班に配置させ、危険な被災箇所や、通行止め区間より先の孤立地区の状況確認、土砂災害等の状況把握を行った。その際、異例ではあるが、被災者への対応などで現



ドローンを活用しての TEC-FORCE 被災状況調査

地に出向くことができない役場職員に代わり、孤立状況の把握を行い、役場から要望された救援物資の配給も実施した。

3. 事業の成果

今回の災害対応では、関東、北陸、中部、近畿の各地方整備局をはじめ、国土技術政策総合研究所、土木研究所からもTEC-FORCEの現地応援をいただいたが、過酷な環境にも関わらず限られた期間内に無事故で、被災状況把握や道路啓開等のTEC-FORCE活動を遂行できた。

道路啓開支援や高度な調査成果が災害復旧の迅速化、災害申請の効率化に大きく寄与した今回のTEC-FORCE活動に対し、被災地の各首長からは感謝の言葉を多くいただいている。

また、救援物資の配給についても、住民からの温かい言葉と信頼がTEC-FORCE隊員のモチベーションの維持と向上に繋がったと報告されている。



被災調査時にあわせて救援物資を運搬する隊員

4. おわりに

東北地方整備局をはじめとし、活動いただいた各TEC-FORCE隊員においては、TEC-FORCEが担う使命を果たすべく、今回の活動で得られた経験とノウハウを今後の大規模災害にも活かせるよう技術力の研鑽を図り、引き続き災害活動に取り組んでいく所存である。